



シルバー

第18号

平成27年1月発行

川南

KAWAMINAMI



撮影者:会員・中瀬 林 「鶴戸の本・峠の茶畑より」

公益社団法人

川南町シルバーカンターセンター



新年のごあいさつ

理事長 河野 記一

新年明けましておめでとうございます

会員の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、ご承知のとおり少子高齢化に伴う人口減少に歯止めがかかる現状の中で、地域社会の活力を維持していくためには、高齢者が生涯現役としてその知識・経験・技能等をいかし、地域社会の一員として生き生きと働き、学び、ボランティア活動等、多様な形で社会参加することが求められており、活力ある高齢社会を支えるシルバー人材センターの役割は益々重要になってきております。

このような中、川南町シルバーパートナーズは、公益社団法人として、適正就業を強く求められるなど厳しい状況にあります。

ますが、会員の皆様のご努力によりまずは順調に運営されていることを心から感謝申し上げます。

しかしシルバー事業の根幹である「会員」と「就業機会」の拡大、またシルバー派遣事業の推進、改正介護保険法関連事業への参入、そしてシルバー人材センターの財政基盤の確立など課題は山積しております。

皆様のご協力を得ながら、役職員一丸となつて頑張りたいと思つております。

ご支援をいただいておりまますとともに、今年も会員の皆様の多幸をご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

新任理事の紹介

理事長 河野 記一

事務局

監事	監事	理事	理事	理事	理事	副理事長	理事長
橋本正夫	加藤由紀夫	岩切柳一	西原良樹	黒木眞智子	平木睦子	篠原浩	河野記一
							常務理事 事務局長
							渡部時義

新春のお慶びを
申し上げます



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、明るい希望に満ちた新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃からシルバー人材センター事業の推進に御尽力いただきしておりますことに、感謝とお礼を申し上げます。さて、我が国は、総人口が減少する中で世界に類を見ない超高齢化社会に突入しました。誰も経験したことのない社会となり、この社会への対応が重要であると認識しています。労働人口が減少する中で、これからまちづくりにおいて地域の歴史、文化に精通した皆様の存在が必要不可欠であると考えま



年頭のごあいさつ

川南町長 日高 昭彦

す。皆様の豊富な経験、知識、技術を社会に根付かせていくことで、「自然と調和した輝くまち新生かわみなみ」づくりを推進していく所存です。そのことからも、元気に活動されている皆様には、今年もますますお元気で御活躍いただき、まちづくりの先駆者としてお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人シルバー人材センターのますます

の御発展と、会員の皆様にとりまして、光り輝くすばらしい年となりますことを祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。



年頭のごあいさつ

川南町議会議長 竹本 修

川南町シルバー人材センターの皆様におかれましては、身心ともに輝かしい新春を御家族お揃いで迎えられた事と思います。川南町におきましては昨年は、六月三日・四日の集中豪雨、十月の台風十八・十九号と立て続けに災害に見舞われました。中でも集中豪雨では平田川の氾濫は七十年來の事と聞きます。昨年は災害の年でもありました。

災害の少ない高台地の川南町と自負していましたが、地球温暖化なる自然変化の極地灾害が全国各地で発生している昨今です。私たちも農業を主体とした町でありますので、常々こうした災害を身近なものに捉えて対処したいものです。

この様な環境の中で、川南町シルバー人材センターの公益法人としての活動は、それぞれの分野・地域での重要な性は更なるものがあると思います。シルバー人材センターの原点「共に助け合う」を掲げられていますが、町においても昨年の四月より「自然と調和した、輝くまち新生かわみなみ」を基に、六つの自治公民館制度が設置されました。目標とすることは類似するものが多く、お互いに共有することが大事ではないかと思います。

終わりに、公益社団法人川南町シルバー人材センターの今後の発展と会員皆様の活動、活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

発注者の声

「今日はシルバーのおばちゃんの来る日やね(笑)。」



川南・都農衛生組合 事務局長
佐 藤 弘

川南・都農衛生組合は二町のご負担により、両町民の皆様のご家庭や事業所より排出される生し尿、浄化槽汚泥等を搬入、高度な科学的処理を行い最終的に一般廃棄物（コンポスト用）、そして清澄な処理水として放流しているところで、昭和三十九年に設立、その後六十三年に施設を改築し、現在運営を行っています。



サンA文化ホール図書館 館長
巻 庄次郎

皆様の
あたたかさに感謝

また時よりおばちゃんから、おやつで「ふかしいも」や「ゆでピーナッツ」など温かい「おふくろの味」のおすそわけがあり、今では皆樂しみにしています。川南シルバー人材センターは県内有数の規模、活動内容であるとお聞きしています。今後ともよろしくお願ひしますとともに、皆様方のご健康と一層のご活躍をご祈念いたしております。

川南シルバー人材センターの皆様との付き合いは、人材センター開設当初からと承っています。以前お願いしていました宿直業務、そして現在は毎月二回の場内清掃及び年二回のワ

シルバー人材センターの皆様には日頃よりトロントロンドーに本年四月からは開館準備のため、早い時間からの勤務をお願いして、我々の気持ちもすつきりとしています。また時よりおばちゃんから、おやつで「ふかしいも」や「ゆでピーナッツ」など温かい「おふくろの味」のおすそわけがあり、今では皆樂しみにしています。川南シルバー人材センターは県内有数の規模、活動内容であるとお聞きしています。今後ともよろしくお願ひしますとともに、皆様方のご健康と一層のご活躍をご祈念いたしております。

職場を定年退職し、しばらくし自由な時間を過ごそうと思いつ、家庭菜園を楽しんで半年が過ぎた頃、気候も涼しく過ごしやすい季節になりそろそろ何か仕事をと思い始めたときに、川南町地域活動支援センターの理事長さんより仕事のお話を頂きました。仕事は、障がい者の方々を対象とした福祉作業所での事務の仕事ですが、仕事に就くにはシルバー人材センターへの登録が必要とのことでしたので早速会員登録の申請をさせていた



加 藤 由紀夫

福祉作業所にて

会員のひろば

皆様にも更に利用していただけましたら幸いです。皆様のご来館をお待ちしております。

だきました。

川南町地域活動支援センターはシルバー人材センター事務局の隣にあります。目的としては、障がい者の生産活動の機会の提供や、社会との交流の促進を図り、地域での生活の支援をすることを目的としており、保健・医療・福祉関係者との連携を図りながら事業を推進しているところです。その大きな事業としては農産物の加工作業を受託しています。契約農家から毎朝届けられる二ラを選別し、指定されたグラム数に計り、束ねるといった一連の作業ですが、施設利用者の皆さんには、いろんな障がいを持ちながらも明るく、楽しい雰囲気の中での毎日作業に励んでいます。

そのような中で、毎日を自宅で過ごしている障がいの方方が、地域活動支援センターを利用してみたいと思えるような作業所として発展できるよう微力ではありますが、お手伝いできたらと思っています。



二人三脚で頑張るゾー



松岡由紀子

二年目となりました。まだまだ私的には、これと言つて自分に見合つた仕事に巡り会えていません。事務所の方にも、お世話になります。つまり一つの事をやり遂げる事です。和気あいあいで、仕事でのパートナーとなつた方と、一日仲良く仕事をする様に努めていきます。年度始めは、やはり茶摘みですかね。大勢の方との連帯作業です。今年は二日目に、朝から雨でした。作業が進んで行く中、寒い、寒い、と言つている方が多かったのが印象的でした。濡れかかつたのが印象的でした。濡れての作業、本当に大変でした。そして、今年は、いろいろな事を事務所の方から、手取り、足取りして教わりました。とても感謝しています。そして、その事を自分のものにしようと思つています。稻の農薬散布のお手伝い、ルピナスパークのブドウの袋かけ

作業、マンゴーの剪定後の枝葉の後片付け、一つ葉の上に這つているカズラの除去作業、ミニトマトの収穫作業、除草剤の散布作業、そして、今現在では、六車農園さんで、いろんな事を教わりながら作業をしている現況です。私にとつては、全部初めての経験で目新しい仕事ばかりで楽しい毎日を送つて仕事をさせて頂いています。これからも頑張つて、お仕事をさせて頂こうと思つております。今年は、主人も入会させて頂きましたので、二人三脚で頑張つて行こうと思つております。



前理事長
谷口泰淳

* シルバー人材
センターへの思い

い元気な働きが
結論が間違つて
感しています。

議論の中心は、急激に進む高齢社会の中でいかに元気な高齢者を増やすかが大切でありその中心がシルバー人材センターであるとの結論であります。シルバー会員の年齢を感じさせない元気な働きぶりを見ればその結論が間違つていなかつたと実感しています。

ただ一つ気がかりだったのは元気のあまり頑張りすぎて事故が起きないかと言うことでした。会員の皆さんのが事故なく一日の仕事を終えて我が家に帰りつくことをひたすら願いながらの毎日でした。

今後も町民の皆様に親しみられ、信頼されるシルバー人材センターであることを願つていま

「昨日は、シルバーの会員さんが懸命に家の廻りを整理してくれました。お陰できれいになりました。ありがとうございます。」ある朝、当時、理事長であつた私にかけられた電話です。会員の皆さん

事業運営説明会 及び意見交換会を開催



事務局だより

十一月十七日～二十一日に、中央・山本・東・通山・多賀地区において意見交換会（地区別座談会）を行いました。事務局がシルバー事業のあり方を説明し、シルバー事業の理解を深めた後に、会員の皆様から忌憚のない意見を頂きました。

シルバー人材センターとは

高齢者が組織的に働くことを通じて、追加的収入を得ると共に、健康を保持し、生きがいを持ち、地域社会に貢献するという「自主・自立・共同・共助」を基本理念としています。

配分金と事務費について

会員からの意見 (○会員△事務局)

会員がシルバー人材センターから依頼の仕事をした場合は、「配分金」（賃金・給与ではありません）として、発注者に請求し会員に支払われます。センターでは諸経費として発

注者から「事務費」として、配分金の10%を支払って頂いております。
※就業報告書を見て発注者に請求書を出しますので、仕事が終わ次第提出して下さい。月末まで仕事をした場合は、月初め三日までに必ず提出して下さい。



- 今年の実績は？
- △十月までの実績で昨年より3.7%増えています。
- 職業郡では何が増えていますか？
- △剪定です。口コミで広がっています。
- (意見を一部抜粋しました)
※二十六年度座談会出席率
会員245人中 56人 22.8%

役員だより

新年あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひ致します。
シルバー会員様の元気ハツラツな仕事姿を見て役員一同心から感動しています。

様々な雇用形態が増えていく今日、これからシルバーセンターのあり方が課題になつてくると思います。会員・職員・役員と一緒にになって一人でも多くの方に賛同しやすいセンターになるのが目標です。
これからも体を大切に。
皆様の幸福を祈つております。

役員一同

二十六年度 行事参加者数

・第一回ボランティア…	84名
・第二回ボランティア…	76名
・第三回ボランティア…	101名
・グラウンドゴルフ大会…	24名
・日帰り旅行…	51名
・交流会…	52名

川南町シルバー人材センターでは、250名余りの会員が元気に働いています。新会員の募集をしています。電話 27-1945にご相談ください。

会員がシルバー人材センターで働く場合は

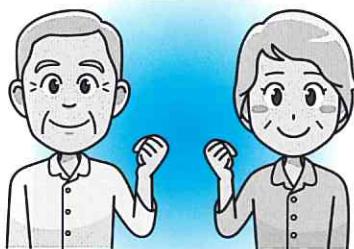
- シルバー人材センターは、高齢者にふさわしい仕事を企業・家庭・公共団体等から引き受け提供します。
- シルバー人材センターから提供された仕事に就いた場合、会員がその仕事を請け負うこと、又は任されることになります。
- 会員は、通常ローテーションにより就業します。
- 仕事は会員自身の技能を活かし責任を持って完成させます。
- 会員が働いた仕事量に応じて、シルバー人材センターが「配分金」を支払います。

もしもの時に安心・シルバー保険

- シルバー人材センターから提供された仕事に就いた場合、労働関係法規(労災保険等)は適用されません。
- ただし、会員が安心して働けるようにシルバー人材センターには就業規約やシルバー保険等(傷害・賠償責任)が設けられています。
- 会員の就業は雇用ではありませんので、万一事故が発生した場合「シルバー保険」で対応します。

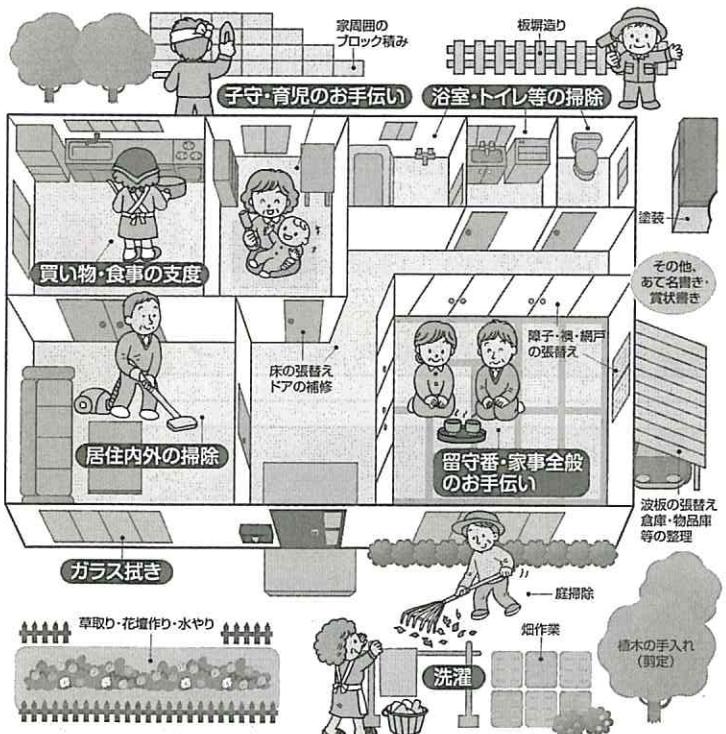
一緒に働きませんか？

会員募集



会員になるためには

- 原則として60歳以上で、健康で働く意欲のある方
- シルバー人材センターの趣旨に賛同した方
- 入会説明を受け、入会申し込みを提出した方
(理事会の入会承認が必要です)
- 定められた会費を納入した方



「ちょっと困ったな…
そんな時には
すぐにお電話下さい
27-1945に

いきいきシルバー人材センター物産展

十一月七日県庁楠並木通りにて農産物の販売をしました。
大盛況で完売しました！



みんなで楽しく 日帰り親睦旅行

十一月二十八日大分県佐伯市蒲江のマリンカルチャーセンターへ！

ボランティア作業

年に三回、サンA文化ホール・役場庁舎外などの草刈り・剪定・清掃を感謝の心を込めて、会員みんなで汗を流しています。ワイワイと楽しい作業でみんなイキイキとしています。



熱戦！
グラウンド・ゴルフ大会
みんなワイワイ話していても、目の奥は真剣です。
奥指せ！ ホールインワン！



ーたくみの味ー 昼食会

ボランティアの疲れを吹き飛ばすあたたかうい豚汁でした。

交流会(忘年会)

十一月六日竹乃屋にて、交流会(忘年会)が行われました。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願ひ致します。

シルバー川南第十八号をお届けいたします。原稿をご寄贈、ご協力くださいました会員と発注者の皆様方、誠に有難うございました。
今年こそシルバー人材センターの最重要課題である、安全就業が達成される事を祈りながら、良い広報誌作成に努めて参りたいと思つております。

編集委員
安全・広報・啓発委員会一同